

夜

中に電話が鳴った。山本^{☆1}さん^{☆2}からだった。「鵜飼君、池田^{☆3}さんが倒れた。君には信じられないだろうが頭蓋骨をひどく打って、命をとりとめても再起不能だ。Amdahl^{☆4}さんに知らせてすぐに来るように」^{☆5}とのことだった。何が起きたのかまったく分からないままに翌朝のJALでAmdahlさんと一緒に羽田に着いて、そのまま病院へ駆けつけた。集中治療室でベッドに横たわる池田さんの白い足が毛布からはみ出していたこと以外、何の記憶もない。

池田さんが亡くなったのは1974年11月14日、39年前である。ほとんどすべての会員にとって、単なる昔ばなしであっても無理はない。

「会社に出てこなかった問題社員」「天才技術者」「日本のミスターコンピュータ」など知る人ぞ知る池田さんに関する書物は多い。その中で、田原総一朗著『日本コンピュータの黎明—富士通・池田敏雄の生と死—』は、一度も会ったことがない池田さんに惚れ込みこだわり続けた田原氏の力作で、これ以上のものは存在しない。

また、「情報処理」Vol.54, No.1 (今年の1月号) 掲載の「オーラルヒストリー；山本卓真氏インタビュー」は、山本さんの語る池田敏雄像としても興味深い。

■「アムダール・プロジェクト」

FACOM 230 シリーズから IBM 互換の M シリーズへ転換しようとする池田さんと Amdahl さんは意気投合する。富士通は、Amdahl 社に投資するとともに M シリーズの最上位機 M190 の兄弟機 amdahl470V/6 を共同開発することを合意し、1971年12月に「アムダール・プロジェクト」を開始した。

この共同開発プロジェクトは全工程の大幅な遅延と Amdahl 社の資金切れとにより、1973 年秋になると存続を危ぶまれる事態になった。両社の関係は相互信頼から一気に相互不信に変わった。富士通が追加投資と引き換えに経営への介入を宣言したことから、富士通の乗っ取り説が流れ、Amdahl 社のキーマンたちが続々と退社した。新社長 Gene White 氏を迎え入れる決定に Amdahl さんが猛反発、辞める辞めないの騒動になった。

池田さんは頻りに Amdahl 社と富士通との間を往復

して態勢立て直しに奔走された。

問題発生から1年経った1974年秋、Amdahl 社社内では、White 氏の指揮下で従業員たちは落ち着きを取り戻しつつあった。技術面では LSI、コネクタ、プリント基板、などのキーコンポーネントを富士通が提供したことで、製造を全面的に富士通が引き受けたことが Amdahl 社立て直しの鍵となった。

事の成り行きを見守っていたポテンシャルカスタマーたちの訪問が増えるなか、NASA が amdahl470V/6 の一号機導入先に決まった。関係者たちは、長いトンネルの先にやっと光を感じ始めていた。

そんな矢先、池田さんが急逝された。本当に残念なことに池田さんは一号機が NASA に納入(1975年5月)されたこともご存じない。

応
般

[シニアコラム]

IT 好き放題



[No.29]

アムダール・プロジェクトと池田ドクトリン

■『池田ドクトリン』

(第一条) 決めるまでは部下も上司も平等だ。対等に議論せよ。一旦決めたら俺が責任をとる。決めたあとは文句をいわずに従え。

(第二条) どうしても判断に迷う時もある。その時は部下を信じて決めろ。判断を間違えることもある。その時はすぐに撤回せよ。

(第三条) 白紙で「どうしましょう」と言うな。自分の能力の限界まで選択肢を詰めてから上司の判断を仰げ。

これは池田さんが他界された直後の1975年1月の私のノートに書いてあったものである。池田さんから多くのことを教えていただいたが、そのエッセンスのようなものの1つがこれだ。

実に当たり前のことであり解説は不要、しかし組織運営で重要な哲学、池田流を最も端的に表した言い方、その上40年経った今日でもそのまま通用する言葉と思う。

(2013年3月17日受付)

鵜飼直哉 Naoya UKAI

(元・富士通)

[正会員] ukai-nmh@mb3.suisui.ne.jp

1937年生まれ。1960年東京工業大学卒業(卒論:TITAC-1の論理設計) 1962年同大学院修士課程卒業。富士通入社。1971年より米国Amdahl社との共同開発プロジェクトの現地責任者。1974年から1984年まで同社社外取締役。以降、主に米国関連事業に参加。1995～2002年富士通SSL代表取締役社長。2004年同社を退社。元・情報処理学会歴史特別委員会委員。

☆1 山本卓真(当時、情報処理本部副本部長)、富士通第9代社長(1981年～1990年)、2012年1月17日死去。

☆2 本稿では、当時の慣習に従って「さん」付けとする。

☆3 池田敏雄(当時、常務取締役 情報処理本部本部長 富士通のコンピュータ事業の総括責任者)

☆4 Dr. Gene M Amdahl, IBM System360 開発者として有名。1970年、System360に対抗したamdahl470を開発するAmdahl社を創立した。

☆5 筆者はアムダール・プロジェクトの現地責任者としてカリフォルニア州サンタクララに赴任していた。